



普通科通信

H23年
5月号



今年のフロンティア事業のテーマは「福高スクラムⅡ」周囲の皆様の協力を得てさらに前進します。

普通科「学び」の一場面を紹介

継続は力なり！ 1年生「日々の演習」を開始

2、3年生は実力を伸ばす新企画へ移行

5月9日（月）から、朝の登校時に写真のような光景が見られるようになりました。福高の基礎学力を支える取組である「日々の演習」が1年生を対象に始まりました。1年生では、英数国の3教科について曜日を決め、毎日、課題が出されます。これを日々の演習（日々演：ひびえん）といい、福知山高校では十数年間続いている取組です。毎日の課題は大変ですが、生徒からは学習習慣が身についた、基本的な内容をしっかりと復習することができる、など日々演があってよかった、という声が多く聞かれます。

昨年度まで、2、3年生も理社の課題を加えて日々演を行っていましたが、本年度より、各教科から、優れた問題集を体系的に解き進めたり、模擬試験の復習や大学入試の過去問題を解く形に取組内容を一新しました。希望進路の実現に向け、さらに実力を伸ばす取組として1年間継続していきます。



みらい考Ⅰ ガイダンス～テーマ決定に向けて～

「みらい考」は、普通科1、2年生を対象として昨年度から始めた取組です。一人一人がテーマを設定し、その課題解決方法を、体験を通して学びます。今回は1年生を対象に、「学力向上フロンティア校」支援事業のねらいや目標、具体的な取組について1年生に知ってもらうため、ガイダンスを実施しました。みらい考でつけてほしい力、テーマ設定の仕方について担当教員から説明を行いました。現在、教員から提示した80余のテーマの中から、興味のあるものを選んでいきます。今後は1年をかけてインターネットや書籍を活用した調べ学習、施設見学や街頭調査、実験、体験実習等の調査活動を行い、レポートにまとめ、交流する予定です。それぞれの個性を生かし、独創的な調査を行うと共に、互いに交流・評価し、コミュニケーション力をつけてほしいと願っています。

これまでの取組

職業適性検査 5/19

- ・進学を考える時、将来就きたい職業から逆算して大学の学部や学科を考えることはとても重要です。本校では、1年生を対象に職業適性検査を毎年行っています。客観的なデータと、興味や適性に基づいて、幅広い視野でみらいの自分について考えます。

「志望理由書」講演会 5/19

- ・学研教育みらいの小論文課から講師をお招きし、3年生を対象に志望理由書の書き方について学びました。志望理由書を書くことにより、自分の目標や志望理由を明確にし、それぞれの進路実現に向けた強い意志を育てます。6月には添削指導に取り組む予定です。この様子は次号でお知らせする予定です。

今後の取組

みらい考調べ学習 6/9

- ・普通科1年生を対象に、インターネットや図書を用いてテーマに関する調べ学習を行います。

「志望理由書」添削 6/9

- ・自分の実際の希望進路に基づいて、5/19の講演を生かして志望理由書を書きます。1ヶ月後には添削されたものが本人に返却されます。

取組紹介みらいの窓

福高作文
～入学生からのメッセージ～

1年3組 山下大輝 くん（綾部市立豊里中学校出身）

僕は中学2年生の後半ぐらいから福高に行って勉強したいと思うようになりました。でも、その時は全く勉強しておらず、心の奥ではそんなに必死になって勉強をしなくても、毎日普通に授業を受けていれば受験も大丈夫だろうと思っていました。そのため実際、3年生の2学期まで受験勉強といえるような勉強はしていませんでした。受験勉強をする中で福高に行きたいという気持ちは最後まで変わらず、今、福高で過ごしていて悔いはありませんが、これから受験勉強をする人には「自分の進んでいる道を広げ、歩きやすくする



授業風景（1年数学）

ためではなく、進める道を増やすために毎日の授業を真剣に受けたり、家庭学習をしてほしい。」と言いたいです。目標を一つにしぼり、それに向かって頑張ることも大切ですが、みなさんにはたくさんの可能性があるため「〇〇高校に受かるためにはこのくらいの勉強をすればいいだろう。」というような上限を決めずに、これから受験勉強に取り組んでほしいです。私は今、こうして福高の一員として、勉強や部活動ができていことにとても感謝しています。

福高は、中学校に比べてもほかの高校に比べても授業の進むスピードが速く、中学校の内容や前回の授業のことは分かっているものとして進んで行くので、私自身ついていけるか心配です。でも、福高での高校生活は絶対に悔いの残らないものになると思います。今、どこの高校に行くか悩んでいる人もいると思うし、いずれ誰もが悩むこととなります。その時に「友達が行くから」という理由で自分の進路を決めないでください。今年、福高を受験した豊里中学校の男子は私だけで、入学してから1週間くらいは友達もできずに休み時間は机にうつ伏せになっていたり、最初は本当に寂しかったです。でも、中学校の友達がずっと一緒ということはありませんので、友達にあわせるというほど悔いの残る進路選択はないと思います。ただ1本道



を歩いたり、友達の後ろを歩いたりするような進路選択はしないでください。

福高での高校生活はとても充実していて毎日が楽しいです。私は福高が一番良いと思って受験しましたが、人それぞれに考えがあるので、いろいろな学校のオープンスクールに行って自分の目で確かめてほしいと思います。

1年1組 山口真由子 さん（伊根町立伊根中学校出身）

私は今、自分なりに福知山高校での生活を楽しくしています。私は福知山市に住んでおらず、誰一人として知っている人がいませんでした。しかし、入学してすぐに友達もでき、「友達ができるだろうか。」といった不安はすぐに消えました。部活動にも入り、先輩や他のクラスの人たちとの交流の機会も増え、毎日とても充実しています。

私は少し後悔していることがあります。それは、中学生の間にもっと苦手を克服しておけばよかったということです。苦手分野を克服しきれなかったために、授業中に十分理解できないことも度々ありました。高校で習うことは中学校までの延長であり、さらに発展的な内容なので、苦手分野を少しでも減らしておくことが大切だと思います。

私は毎日、約2時間かけて通学していますが、辛いとは思っていません。なぜなら、毎日の生活リズムが決まっていて、学習時間もしっかり確保できているからです。

もし、通学の面で志望校を決めかねている人がいるのなら、心配はいらないと思います。私もまだ入学して少ししかたっていませんが、毎日とても充実しており楽しく過ごしています。

少しでも多くの方が福知山高校を目指してほしいです。



1年遠足（バスの中で）

1年5組 須藤優衣 さん（福知山市立南陵中学校出身）

私はこの福知山高校に入学して、勉強する大切さと高校の勉強の難しさを知りました。中学校よりも内容が難しくなり、速さもとても速くて日々の予習や復習が欠かせなくなりました。分からないところは放っておかずに、その日のうちに解決することが大事になりました。勉強は大変ですが、福高はとても明るい学校だと、入ってから思いました。みんなが仲良く楽しく活動できています。勉強とのメリハリもつけられます。福高は、自分の弱い心を強くでき、メリハリがつけられ、勉強や部活動が一生懸命でき、何より自分を高められる仲間がいると思います。

中学校と大きく異なるところは、みんなが頑張ることだと思います。中学校では周りの目を気にしながら活動し、自分の頑張りたい気持ちを素直に出せない時もあったけど、福高はみんなが何に対しても頑張るので、自分も頑張れるし、本当の自分を出せます。もちろん、勉強も難しいし、授業数も増えることも中学校とは違いますが、それもみんな同じなので頑張れると思います。

福高のいいところは、部活動などで一生懸命になり、友達と一緒に日々を楽しめることです。もし、勉強も頑張りたいけど、他にも何か頑張りたいと思っていたら、福高を目指してほしいです。好きな部活動等もできるし、充実した日々になります。私も受験勉強は大変でしたが、毎日諦めずに勉強して合格できたときは、言葉では言い表せないくらい嬉しかったです。受験を乗り越えてよかったと思いました。だから、中学生のみなさんも受験を頑張って、ぜひ福高に入学してください。



遠足（パン作り体験）